

「いたばしNo.1 実現プラン 2025 改訂版」実績報告（令和6年度～令和7年度）

1 概要

- 「いたばしNo.1 実現プラン 2025」（以下、No.1 プラン 2025）は、令和3年度から令和7年度までを計画期間として、事業量と経費及び財政計画を令和5年度まで明らかにし、令和6年度以降は方向性のみを示していました。
- No.1 プラン 2025 の改訂にあたり、令和6年度及び令和7年度における事業量と経費、財政計画を明らかにするとともに、令和8年度以降の次期基本計画を見据え、「東京で一番住みたくなるまち」の新たなステージへのバージョンアップをめざし、取組を進めました。
- 「いたばしNo.1 実現プラン 2025 改訂版」（以下、No.1 プラン 2025 改訂版）は、実施計画（重点戦略・実施計画事業）、経営革新計画、公共施設等ベースプランで構成されています。

2 実施計画（重点戦略）

- 「SDGs 戦略」「DX 戦略」「ブランド戦略」の3つを柱に、「未来を担う人づくり」「魅力あふれる元気なまちづくり」「安心・安全な環境づくり」それぞれの視点からバージョンアップにチャレンジし、取組を進めました。

○以下、令和7年度における主な取組を紹介します。

SDGs 戦略

- 計3回のいたばし子どもワークショップを開催し、子どもたちが板橋の未来について主体的に考え、提案した意見を参考に、子ども政策にかかる計画等の策定に取り組みました。
- 多世代が自然に集い、交流し、地域活動へ参画しやすい全く新しい集会所として、栄町集会所（愛称：テラソラ）が完成しました。
- 板橋区かわまちづくりの第1期事業として着手した、荒川堤防と新河岸陸上競技場を繋ぐ連絡通路が完成しました。



いたばし子どもワークショップ



栄町集会所（テラソラ）



「板橋区かわまちづくり」連絡通路



デジタルトランスフォーメーション（DX戦略）

- 民生・児童委員に一人一台、タブレットを配付し、資料の電子化をすることで、業務の効率化・活動の負担軽減を図りました。
- 地域交流アプリの導入を支援し、電子回覧板や地域情報の発信等を町会・自治会内で可能にするとともに、区から町会等への情報提供にも活用しました。
- 戸籍に関する手続きや住民異動届などの手続きを対象として、24時間365日対応可能な対話型AIによる電話対応サービスを導入しました。



地域交流アプリ「結ネット」



対話型AIによる電話対応サービス



ブランド戦略

- 新たな基本構想の実現・基本計画及び創造都市に関する取組の推進に向けて、CIマニュアル、デザインシステムマニュアル、ブランド戦略を改定しました。
- 区民まつり「絵本のまちひろば」でのイベント開催や、本庁舎南館1階戸籍住民課の待合エリアに国産木材を用いた「絵本コーナー」を設置する等、絵本に触れられる機会を創出しました。
- 高島平緑地（高島平九丁目地区）では、再整備計画策定に向けて、みどりを活かした新たな魅力やにぎわいの創出、多様な主体との協働の可能性を探る社会実験等を実施しました。



新しいオフィシャル・ロゴ



区民まつり「絵本のまちひろば」



高島平緑地（高島平九丁目地区）
社会実験イベント

3 実施計画事業

○3つの基本目標と9つの基本政策に基づき、No.1 プラン 2025 改訂版の計画期間である2年間（令和6年度～令和7年度）で57の計画事業を実施しました。7割以上の事業が「完了」または「順調」に進捗しています。
（令和6年度～令和7年度における2か年の実施計画事業決算額合計：34,369百万円）

基本目標		事業数	実績				
	基本政策		完了	順調	一部遅延等	変更	その他
I	未来をはぐくむあたたかいまち	13	2	10	1	0	0
	1 子育て安心	2	0	2	0	0	0
	2 魅力ある学び支援	8	2	5	1	0	0
	3 安心の福祉・介護	3	0	3	0	0	0
II	いきいきかがやく元気なまち	5	0	2	1	1	1
	1 豊かな健康長寿社会	1	0	1	0	0	0
	2 心躍るスポーツ・文化	2	0	0	1	1	0
	3 光輝く板橋ブランド・産業活力	2	0	1	0	0	1
III	安心・安全で快適な緑のまち	34	5	20	4	1	4
	1 緑と環境共生	11	3	7	1	0	0
	2 万全な備えの安心・安全	6	0	3	0	0	3
	3 快適で魅力あるまち	17	2	10	3	1	1
計画を推進する区政経営		5	0	4	0	1	0
合計		57	7	36	6	3	5

※実績の評語について

○「完了」とは、2か年の計画事業量を実施し、事業目的を概ね達成したことにより、実施計画事業として完了したもの。

○「順調」とは、概ね計画に基づいた進捗が図れているもの。（約7割以上）

○「一部遅延等」とは、計画事業量に一部遅延等が生じているもの。

○「変更」とは、計画を見直す必要が生じ、変更して実施したもの。

○「その他」とは、計画事業量の7割には達しなかったものの、事業目的を概ね達成しているもの。

4 経営革新計画

○経営革新計画では、計画事業14事業の取組を進め、このうち「高齢福祉に関する組織体制の最適化」など、4事業が完了しました。9の事業が「順調」に進捗しています。

○No.1 プラン 2025「人材育成・活用計画」で示した方向性に沿って、人材の育成と活用の取組を一層加速させ、区民サービスとマネジメントの質の向上を図りました。

【進捗状況】

評語	完了	順調	一部遅延等	変更
事業数	4	9	0	1

【主な計画の取組】

○行政手続きのオンライン化については、LoGo フォームを1年間通じて使用したほか、あいキッズ利用申請等、前年度と比較して新たに764手続きのオンライン化を実現しました。

○DXの推進による業務の改善・効率化については、RPA導入により1,865時間の作業時間を削減し、AI-OCRでは1,075時間の削減効果が得るなど、順調に拡大を進めました。

○働き方改革として、テレワーク実施率は前年度比108%の3,921回、Web会議開催件数は、前年度1.12倍の3,551回と推進しました。

○公共施設の跡地活用については、今期の計画事業量を順調に進めており、旧板橋第四中学校、旧板橋第三小学校、旧中央図書館においては計画策定を行いました。

○高齢福祉に関する組織体制の最適化については、長寿社会推進課、介護保険課、おとしより保健福祉センターの3課を抜本的に見直し、高齢政策課、生涯活躍推進課、介護保険課の3課体制とする組織改正を行うこととしました。

○主任職「重点戦略推進研修」や各職層別の「重点戦略講座」を実施し、区の重点戦略を推進するための基盤となる人材を育成しました。

5 公共施設等ベースプラン

○上板橋第一中学校、小中一貫型学校となる志村小学校及び志村第四中学校の改築、赤塚小の長寿命化改修を着工しました。

○志村第六小学校の長寿命化改修、加賀庭球場管理棟の改築、区営仲宿住宅の改築、栄町集会所の整備工事が完了しました。

○蓮根第二児童館等9施設及び小学校（18校）では、トイレのバリアフリー化を完了するとともに、区立児童館や区立保育園13施設でLED化を完了し、機能向上を図りました。

○地域型保育施設（前野ベビールーム、清水町小規模保育園、中台小規模保育園、大山らる小規模保育園）と榛名林間学園を廃止し、施設総量を抑制するとともに、他の行政課題の解決に資する転用や、公共施設の整備・更新によるサービス・機能向上に向けた検討を行いました（用途転用を予定している施設を除き、計4,280㎡の減）。

6 いたばしNo.1 実現プラン 2028

○基本計画に掲げた基本政策に沿った区政を展開するための短期的なアクションプログラムであり、実施計画・経営戦略推進プラン・公共施設等ベースプランで構成されています。

○「ウェルビーイング戦略（ひと）」・「クリエイティブ戦略（まち）」・「トランスフォーメーション戦略（みらい（しくみ））」の3つの戦略により、基本構想の将来像及び将来像が実現したまちの姿を具体化していきます。